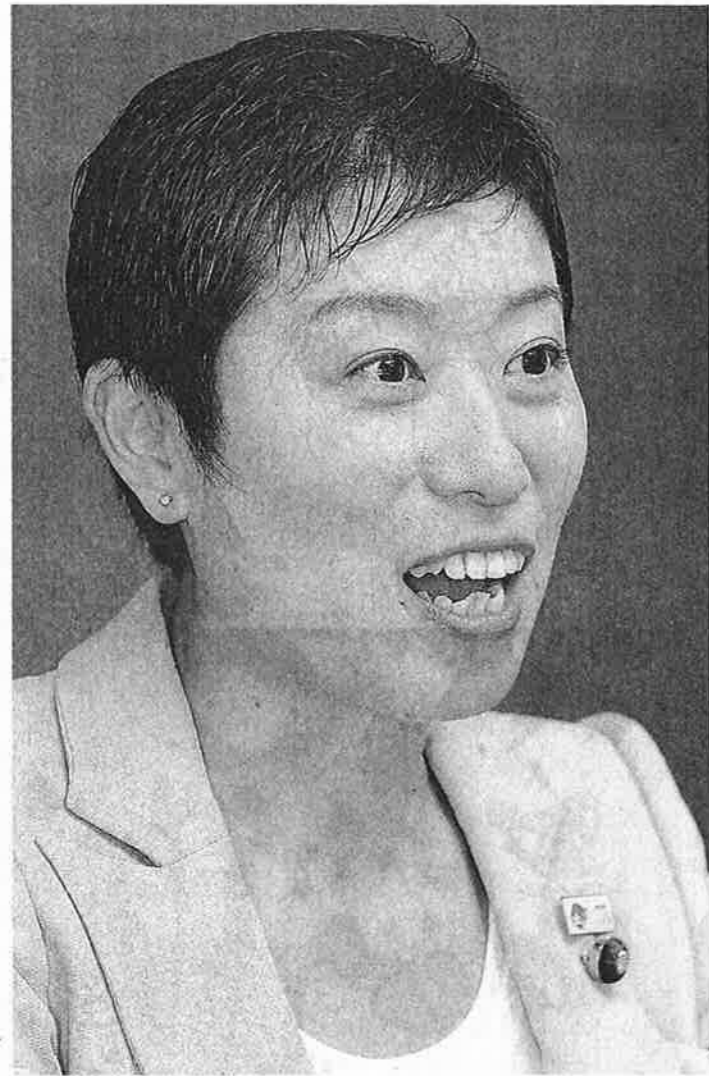


ザ・特集



「2世でも金持ちでもない菅さんが首相になり、政治の質が少し変わった」と言う辻元清美・首相補佐官—衆院第2議員会館で8月26日、岩下幸一郎撮影

「在任中の活動を歴史がどう評価するかは、後世の人々の判断に委ねたい」
そう言い残し、菅首相は去ろうとしている。
8月30日、衆院本会議。辻元さんは菅首相と言葉を交わした。「お疲れ様でした。近く市民運動の仲間一杯やろうよ」「とねぎらうと、」やろやろやろ」とうれしそうに答えたという。

同じ「市民運動出身」辻元衆院議員が語る 「菅首相」なぜコケたか

菅首相は厚相時代、兼善エイス問題で厚生省(当時)が隠していた内部資料を明るみに出し、国会でも舌鋒鋭い論客として名をはせる。だが、総理大臣の椅子に座ってからは精彩を欠いた。
就任から間もない昨年7月の参院選。唐突に「消費税10%」を口にして大敗を招き、滑り出しからつまづいた。

「私自身、自社さ政権を経験して実感したのは『まめさ』こそが権力維持の最大の装置やということ。ある自民党の幹部は『芝居ではステーションの幕が上がったときには準備が終わっているのと同様、政策も公になったときにはほとんど終わっていないと周りが混乱する』と教えてくれた。そこ

「保守派を中心に、『市民運動出身の政治家の限界』を指摘する声も相次いだ。『確かに(市民運動出身の政治家には)批判するのは上手でも、批判を受けるのは下手という特徴がある。私もそうなのでは。そりゃ『総理—総理—』と言っているほうが簡単やで」
そこには、辻元さん自身の苦い経験がある。早稲田大在学中に民間国際交流団体「ピースポート」を設立

「最小不幸社会の実現」の理念や関連の政策も、激しい「菅降ろし」にかき消されてしまった。
「在任中の活動を歴史がどう評価するかは、後世の人々の判断に委ねたい」
そう言い残し、菅首相は去ろうとしている。
8月30日、衆院本会議。辻元さんは菅首相と言葉を交わした。「お疲れ様でした。近く市民運動の仲間一杯やろうよ」「とねぎらうと、」やろやろやろ」とうれしそうに答えたという。

権力維持には「まめさ」必要だが、
理念重視のあまり気が回らず。

「私も親しいけど、菅さんから総理大臣になってからおどってももらった覚えはないなあ。昔からかな。確かに面倒見はあまりよくないよ」
苦笑する辻元さんに、「ケチなんですかね」と突っ込むと、こう解説した。「いや、気が回らないんですよ。理念や考え方を重視するあまり、そこでつながってればいいんだ、みたいなところはありますね」
保守派を中心に、「市民運動出身の政治家の限界」を指摘する声も相次いだ。

「確かに(市民運動出身の政治家には)批判するのは上手でも、批判を受けるのは下手という特徴がある。私もそうなのでは。そりゃ『総理—総理—』と言っているほうが簡単やで」
そこには、辻元さん自身の苦い経験がある。早稲田大在学中に民間国際交流団体「ピースポート」を設立

「統治には2種類あると思うんですよ。一つは中曽根康弘元首相のように自ら引張る『強いおやじ型』。もう一つが、市民一人一人に社会に参加してもらう市民参加型です。こちらは、まず子育てやまちづくりで同じ考えを持った人が地域にいて、さらにそういう発想の地方議員が増えなければ安定しない。現実には自民党長期政権のもと、市民型統治は未成熟のまま今日まで来てしまった。菅さんの理想と首相としての行動が合致しなかったのは、そこにも原因があると思うんです」

「自分の言葉で。終わりは全部よしでせ」
8月26日、衆院議員会館。テレビ画面の中で「退陣の弁」を語り始めた菅首相に、その声をかけた。立ったまま、安堵とも無念ともつかぬ表情の辻元さんである。約5分、聞き終えるとポツリ。「あっさりしてたなあ……」

「私も親しいけど、菅さんから総理大臣になってからおどってももらった覚えはないなあ。昔からかな。確かに面倒見はあまりよくないよ」
苦笑する辻元さんに、「ケチなんですかね」と突っ込むと、こう解説した。「いや、気が回らないんですよ。理念や考え方を重視するあまり、そこでつながってればいいんだ、みたいなところはありますね」

「私も親しいけど、菅さんから総理大臣になってからおどってももらった覚えはないなあ。昔からかな。確かに面倒見はあまりよくないよ」
苦笑する辻元さんに、「ケチなんですかね」と突っ込むと、こう解説した。「いや、気が回らないんですよ。理念や考え方を重視するあまり、そこでつながってればいいんだ、みたいなところはありますね」

「統治には2種類あると思うんですよ。一つは中曽根康弘元首相のように自ら引張る『強いおやじ型』。もう一つが、市民一人一人に社会に参加してもらう市民参加型です。こちらは、まず子育てやまちづくりで同じ考えを持った人が地域にいて、さらにそういう発想の地方議員が増えなければ安定しない。現実には自民党長期政権のもと、市民型統治は未成熟のまま今日まで来てしまった。菅さんの理想と首相としての行動が合致しなかったのは、そこにも原因があると思うんです」



民主党代表選で投票する菅直人首相の胸中は……—東京都千代田区で8月29日、西本勝撮影